

【紀行】 駅から歩ける家族向き中山

大高取山―桂木山

埼玉県

町田 尚夫

大高取山は駅から近く、道標は整備され家族向きの安全に歩ける山として人気が高い。例年10月にこの山域で開かれる「武蔵おごせハイキング大会」は、数千人規模のハイカーが参加する一大イベントになっている。

越生駅から西へ法恩寺の脇を進むと越生神社に着く。この地は戦国時代の武將、越生次郎家行の館跡と伝えられる場所、氏神として祭られたのが越生神社だという。

神社の裏手を左折して大高取山コーズに入るとすぐ、高取山への道が分かる。

登り口に立つ大きな自然石の碑には、表面に「○三富士一山」と「三十三度成就」横田光行」などが刻まれ、裏面には明治十年の銘がある。○三とは明治から大正にかけて近郷で盛行した富士講の一つ丸三講のことで、三十三度登山を記念して建立したことが分かる。

横田光行とは丸三講の先達で、幕末の飯能戦争で自刃した渋沢平九郎の首級を、法恩寺に手厚く葬った地元黒岩の横田佐平氏である。

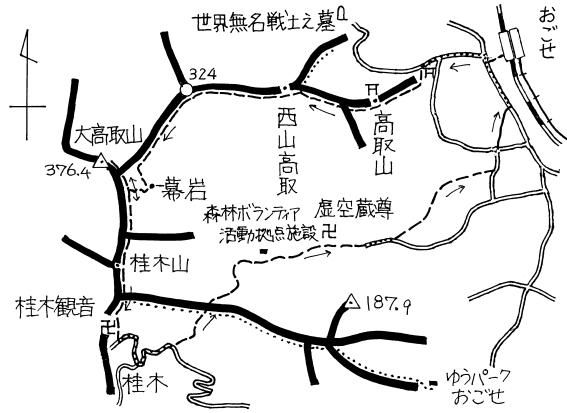
高取山への道に入り左側を注意して歩くと「三町目」と「四町目」の町目石が見つかる。昔は町目ごとにあったらしいが、ほかには見当たらない。最

後に急登し、高取城跡の標柱を見て石段を上ると越生神社奥社の前に出る。ここは越生氏のとりで跡とされる場所、奥社がある所は本郭である。奥に進むと山中では不自然な平場が現われる。一段低い所は二の郭、その先は三の郭とされ、空堀の遺構も認められ



顔振峠から大高取山と桂木山を望む

大高取山付近略図



る。
 社殿の左、スダジイの木の根元の盛り土は富士塚で、半分崩れている。塚上の石祠は半壊して確認できないが浅間神社であろう。下の石祠は小御岳神社だと思われる。かつては富士講の

信者たちが盛んに登拝した富士塚も、今では時代とともに忘れ去られてしまったようだ。

大高取山コースに出てひとしきり登り、右手の西山高取に寄り道する。ここは世界無名戦士之墓からのコースの合流点で、東側の見晴らしがよい。

戻って右折、しばらくは緩やかなアップダウンを繰り返す。この辺りは昔の国有林で杉やヒノキが多く、今は共有林としてよく手入れされ、森林浴を満喫できる。

道沿いに幾つかある篆書体の「山」の字を刻んだ石標は旧国有林の境界標で、桂木山や物見山にもたくさん見られる。

324m標高点を過ぎ、頂上に近付いてきた所で「幕岩」の道標で左に折れる。山腹を巻いて進めば5分ほどで幕岩に着く。岩上の小平地にはベンチも設けられ休憩に好適だ。東方が開けて見晴らしがよく、好天なら東京スカイツリーも望める。

幕岩は『新編武蔵風土記稿』に「上

野山の上にあり、高さ三丈、長五十間許、其形幕を張たる如しと呼名とせり」とある。西山林道からのコースなら岩の基部を巻くので形状を観察できるが、上からでは分からない。

大高取山へは少し戻り道標でジグザグに登る。「武蔵おこせハイキングフアミリーコース」の標識は右折、ひと登りで平坦な十字路に出て、直進すれば山頂に着く。ここには明治35年設置の三等三角点(点名・大満)がある。展望はないが静寂に包まれ、町の近くとは思われない好ましい雰囲気がある。

大高取山は元は神ノ倉山と呼ばれ、一万分の一越生町全図を見ると神ノ座・護摩壇・神ノ倉など昔の山岳信仰を思わせる山字名が幾つも載っている。山頂西側の敷にふさがれた古道の側に、磐座かと思わせる大きな岩崖があるが、越生町でも未調査で解明されていない。

十字路に戻り南に折れると、桂木山への尾根歩きが始まる。展望こそないが快適な稜線漫步で足もはかどる。山頂手前の小ピークに古い展望板があり、

関八州見晴台方面の眺めが描かれてい
るので、その頃は良く見えたのかもし
れない。

桂木山の頂上は私製標識のほかは何
もなく、静かなだけ取り柄だ。10
0ほど南下した所から東の尾根に入
る踏み跡は、「ゆうパークおごせ」に通
じる短絡路なので覚えておくとよい。

急な斜面を少し下れば桂木観音に着く。
桂木観音は僧行基ゆかりの寺と伝
え、千手観音を本尊としている。桂木
の名前は、奈良県の葛城山に似ている
ので名付けたと言われる。中腹の東斜
面に明るく開けた境内は、花季にはサ
クラやツツジの花が景観に彩りを添え
ている。境内からの越上山は可愛らし
い双丘に見え、オケツ山の愛称がうな
ずける。

石段を下った小平地にはトイレやベ
ンチが設けられ、休憩所として整備さ
れている。東側の見晴らしがよく、好
天の日には東京スカイツリーが遠望で
きる。また桂木集落はユズの特産地と
して知られ、シーズンには道端に無人

売店が店開きする。

車道を少し下り、道標で左の細い道
に入る。両側はユズ畑で、手を伸ばせ
ば触れそうところに黄色い実がたわ
わに実っている。

山中に入りわずかに進むと十字路に
出る。左の道は先ほどの桂木山からの
短絡路、右はゆうパークおごせへ30分
ほどで行ける。ここから下りになり沢
沿いの道に合わさると道は広くなる。
やがて「森林ボランティア活動拠点施
設・埼玉県」と書かれたログハウス風
の新しい建物に着く。この辺は県有林
なので管理施設であろう。緊急時には
活用できそうだが、普段は閉まってい
る。

間もなく虚空蔵尊の石段下に着く。
この虚空蔵尊は能満・知満・福満とい
う三つの虚空蔵尊を一つに祭つてある
ので三満山虚空蔵尊といい、だるま市
などの縁日には近在の人々でにぎわい
をみせる。

昭和48年、境内の堂宇の屋根のふき
替え工事中に、天井裏から当時の時価

で500万円以上の小判や古銭が発見
され、福の神として評判を呼んだとい
うエピソードがある。

余裕があれば参詣し、あとは山里の
風情を楽しみながら越生駅に戻る。

(11年11月27日(日)歩く)

● コースタイム

越生駅—25分—高取城址—15分—西山
高取—40分—幕岩—15分—大高取山—
20分—桂木山—10分—桂木観音—30分
—虚空蔵尊—25分—越生駅

〔計3時間〕

● 費用

池袋⇨越生 東武 700円

● 問い合わせ先

越生町役場産業観光課

049-292-3121

毛呂山町役場産業振興課

049-295-2112

● 地図

越生(2万5千)

東京(20万)